

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-233005

(P2008-233005A)

(43) 公開日 平成20年10月2日(2008.10.2)

(51) Int. Cl.		F 1		テーマコード (参考)
GO 1 N 21/76	(2006.01)	GO 1 N 21/76		2 G O 5 4
GO 1 N 33/00	(2006.01)	GO 1 N 33/00	D	
GO 1 N 21/77	(2006.01)	GO 1 N 21/77	B	

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2007-76513 (P2007-76513)	(71) 出願人	806000011 財団法人岡山県産業振興財団 岡山県岡山市芳賀5301
(22) 出願日	平成19年3月23日(2007.3.23)	(74) 代理人	100113181 弁理士 中務 茂樹
		(74) 代理人	100114535 弁理士 森 寿夫
		(74) 代理人	100075960 弁理士 森 廣三郎
		(74) 代理人	100126697 弁理士 松浦 瑞枝
		(72) 発明者	中川 益生 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学 内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 尿素濃度測定方法及び尿素濃度測定装置

(57) 【要約】

【課題】電気分解により系中で次亜ハロゲン酸イオンを生じさせることができるため、刺激性を有する次亜ハロゲン酸塩を直接ハンドリングする必要がなく、コスト的にメリットがある尿素濃度測定方法を提供する。

【解決手段】試料溶液の尿素濃度を測定する尿素濃度測定方法であって、電気分解により系中で発生した次亜ハロゲン酸イオンと尿素とが反応することにより生じた化学発光を計測して尿素濃度を定量することを特徴とする尿素濃度測定方法である。

【選択図】 図1

